

環境問題への取り組みと省エネ

基礎コース

企業（会社）は 営利を追求するために存在します。ものづくり現場のリーダー（中核人材）の皆さんは 利益をあげることを第一に考えて 行動しなければいけません。この中核人材育成塾も 効率的で収益のあがる現場の改善に 重きを置いています。

しかし、営利だけでは 企業は永続しません。そこで今回は、環境問題 と その解決の有効手段の一つである省エネを通して、企業の社会的責任（CSR）と コンプライアンスについて考えます。

プログラム

対象 ものづくり現場のリーダー（中核人材）の皆様
経験年数5～10年程度

定員 30名

時間 9:30～12:30 3時間
(9:00から受付)

日程 平成28年 5月26日(木)

会場 岐阜工業高等専門学校
図書館 多目的ホール

研修後のフォローアップ

研修後、ご希望により、逆スクーリング制度（フォローアップ）を実施します。

講師が受講者の現場を訪問し、直接指導を行います。（有料）

講師紹介

森 清高

1. はじめに

- 1 環境問題とはなにか
- 2 環境基本計画について

2. 環境問題は公害から始まった

- 1 悲惨な日本の「四大公害病」
 - 公害国会（1970年）と環境庁の発足
- 2 Silent Spring（生と死の妙薬）[1962年出版]
—— カーソン女史の科学書が教えるもの ——
- 3 ダイオキシン類とPCB
——（生産規制と排出規制 その1）——

3. 環境問題は地球規模へ

- 1 Only One Earth（かけがえのない地球）
—— 国連人間環境会議（1972年） ——
 - 国連専門機関「UNEP（国連環境計画）」の設立
- 2 Sustainable Development（持続可能な開発）
—— 国連環境開発会議（1992年） ——
 - ISO 14000シリーズの誕生
- 3 オゾン層破壊と地球温暖化
——（生産規制と排出規制 その2）——
 - 地球温暖化防止のための省エネ

4. おわりに

- 1 コンプライアンスは法令遵守だけではない
- 2 企業の社会的責任（CSR）とは
- 3 環境倫理の三本柱

総合機械メーカーにて、先進技術を取り入れた設備を導入。その後、ものづくりの分かる経理マンとして 管理部門へ転向。環境問題対策の責任者を歴任、管理部長として広範な実務経験を持つ。

技術が分かる経理屋・環境屋として第一線の実践的な仕事の進め方に定評があり、わかりやすく成果のあがる解説で好評。